

# 第1章 はじめに

## 1 研究主題

### 情報通信ネットワークの活用に関する研究

## 2 研究主題設定の背景

近年、情報処理及び情報通信に関して機器や回線の性能が飛躍的に向上するとともに、その技術が発達したことに伴い、マルチメディアや情報通信ネットワークの技術革新が急速に進展し、学校においても情報通信ネットワークを活用した新たな教育活動が求められています。学校におけるコンピュータ等の新整備計画に基づく整備が着実に進み、その活用がしだいに拡大しつつあります。特に、インターネットの普及は著しく、文部省から「2001年までにすべての学校をインターネットに接続する。」等の計画が発表され、高度情報通信社会に対応する「新しい学校」づくりが進められようとしています。更に当総合教育センターに京都府教育情報ネットワーク（「京都みらいネット」）システムの拠点（以下「拠点」という。）が開設されたことにより、府内の各学校等からのインターネットへの接続が急速に進んでいます。

このような状況のもとで、「新しい学校」に対応するため、コンピュータ教室内だけでなく、職員室、準備室、事務室などの諸室、さらには普通教室や図書室を結ぶネットワーク（校内LAN）を構築して効果的に活用する教育活動の在り方や、京都みらいネットを有効に活用した教育活動の在り方についての検討が重要な課題となってきました。

そこで、本研究では、これらの課題を背景に、今後の学校教育における情報通信ネットワーク活用等の在り方を検討することとし、上述の主題を設定し、研究を行うこととしました。

## 3 研究の内容

本研究主題に基づく研究の内容は、次のとおりでした。

- (1) 高度情報通信社会に対応したこれからの学校教育における情報通信ネットワーク活用の在り方、効果的活用を図るための具体的方法及び課題について調査・検討する。
- (2) 学校におけるネットワークの構築及び京都みらいネットの円滑な利活用の方法を検討するとともに、情報通信ネットワークの教育利用における問題点等について探る。

## 4 研究の年次計画

本研究は、次のような年次計画のもとに進めました。

### 《第1年次》 平成9年度

- ・ 学校における情報通信ネットワーク活用に関する先行研究及び実践の状況を探る。
- ・ 学校における情報通信ネットワーク構築の状況を探り、その在り方を検討する。
- ・ 京都みらいネットの効果的な活用方法等を検討する。

### 《第2年次》 平成10年度

- ・ 京都みらいネットを活用した教育活動の方法及び活用上の問題点等について検討する。

- ・ 学校等の協力を得ながら、情報通信ネットワークの教育利用における課題や問題点等について探る。

## 5 平成10年度の研究内容及び方法

本研究の最終年度に当たる平成10年度は、次のような内容及び方法で研究を進めました。

### (1) 拠点を活用した教育活動の方法及び在り方に関する研究

- ・ 拠点を活用した教育活動の方法について具体的に検討する。
- ・ 学校等の協力を得ながら、拠点を活用したインターネット等の活用の在り方について検討する。

### (2) 学校における情報通信ネットワークの活用に関する研究

- ・ 学校等の協力を得ながら、インターネットや校内LANの活用上の課題等を探る。

### (3) 研究協力者会議及び研究協力校の設置

- ・ 本研究では、研究協力者会議を設置して、実践的、専門的な立場から助言を得る。
- ・ 本研究では、研究協力校を設置して当情報教育研究部との共同研究を進め、実践上の課題等を探る。